

# SHOKEI



第461号  
2008年(平成20年)  
9月10日発行

## 【発足から57年、トップを目指す選手達】 未来に向かって躍進する、 尚綱学院高等学校バレーボール部！

メッセージ/大学・バレーボール部監督:小田嶋充/高校・バレーボール部監督:小野寺二男  
コーチングキャラバン派遣コーチ:利部陽子  
高校バレーボール部主将:小出加奈子

### 子羊からの一通の手紙

中高教員/白津祈恵子  
職員エッセイ  
【梅の花】  
○卒論の思い出/大学総務課事務職員 佐藤 光一

卒業生コラム  
はばたき  
1997年 尚綱学院高等学校 1999年 尚綱学院短期大学生活科学科卒業  
緑の里クリニック看護師/鈴木静香さん

SHOKEI 461 2008 未来に向かって躍進する、尚綱学院高等学校バレーボール部！

発行 尚綱学院後援会 〒980-0873 仙台市青葉区広瀬町9-1 TEL:022-264-5872  
印刷 田宮印刷株式会社 仙台支店 〒984-0051 仙台市若林区新寺5-5-18 TEL:022-295-0281(代)  
定価 一年送料共2,000円

### 尚綱学院大学 エクステンションセンター 講座のお知らせ

#### 尚綱学院大学リカレント講座2008 第4回 幼稚園教諭、保育士のための リカレント講座

講座のねらい: 保育現場で働く保育経験者たちが、自らの保育をふり返り、さらに深めることをねらいとしている。今回、現場からの要望の多い領域から、専門家によってアプローチがなされる。

第1回 11月1日(土)  
【子どもと遊ぶ】を考えるワークショップ]  
●講師: ラーメンちゃん

第2回 11月22日(土)  
【気になる子どもへの保育  
-LD, ADHD, 高機能自閉症児の子どもへの接し方-]  
●講師: 清水貞夫先生(宮城教育大学名誉教授)

第3回 11月29日(土)  
【少年非行の実態と幼児期における  
非行防止教育】  
●講師: 石原智子さん(宮城県警察本部生活安全部少年課)  
●受講料: 無料  
●会場: 本学ゆりが丘キャンパス  
●時間: 午後2時~4時  
※本誌中面記事 11 ページにも講座のご案内があります。

## 尚志祭 2008

MADE in 尚綱  
~まごころこめてつくりました~

尚綱の魅力を存分に伝えることができよう、実行委員会一同尚志祭に向けて日々活躍しています。今年の尚志祭は芸能人ライブや45団体の出店があり、さらに野外ステージ企画も予定しています。2日目には毎年恒例の花火大会も行われます。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

●開催日時 1日目 10月18日(土) AM10:30~  
2日目 10月19日(日) AM10:00~  
●会場 尚綱学院大学(ゆりが丘キャンパス)  
詳しくはパソコンHP、または携帯HPをご覧ください。  
パソコンHP(尚志祭2008で検索)  
http://syoukeimatsuri2008.rakurakuhp.net/  
携帯HP  
http://05.mbsp.jp/skmatsuri2008/  
右のQRコードを読み込んでください

表現文化学科主催  
「尚綱メディア・フェスタ」  
プレイベント  
●開催日時 10月18日(土)・19日(日)  
〔尚志祭〕当日  
●会場 4号館3階  
●内容 孫太郎虫ミュージアム、映像インスタレーション、オペレッタ、リーダーズシアター、声優トークショー(ゲスト たてかべ和也氏)、他  
※本イベントは、2009年度に白石市で行われる尚綱メディア・フェスタ白石のプレイベントとして、表現文化学科所属の2年生が中心となって企画・運営を行うものです。

おくやみ  
謹んで  
哀悼の意を  
表します。

道岡サタ子様(91歳)  
(大学健康栄養学科教授 道岡功様 御母堂)  
6月8日逝去されました。

吉成タツ子様(97歳)  
(高等科家政科昭和6年卒)  
6月17日逝去されました。

中村弘子様(79歳)  
(大学事務職員 中村節子様 御義母)  
6月23日逝去されました。

齋藤秀逸様(61歳)  
(中学・高等学校教頭 齋藤公夫様 御令兄)  
6月25日逝去されました。

佐藤さく子様(91歳)  
(幼稚園教諭 清野正恵様 御祖母)  
6月28日逝去されました。

刀根邦子様(83歳)  
(本科昭和18年卒)  
7月1日逝去されました。

油川政子様(60歳)  
(大学現代社会学科教授 油川洋様 御令妹)  
7月9日逝去されました。

伊澤律子様(83歳)  
(本科昭和18年卒)  
7月10日逝去されました。

三浦良子様(59歳)  
(中学昭和40年卒・高校昭和43年卒・  
現同窓会本部役員)  
7月14日逝去されました。

佐々木キヨ子様(84歳)  
(大学女子短期大学部保育科教授  
小松秀茂様 御義母)  
7月16日逝去されました。

### リニューアルしました!

年6冊5回発送  
5月 7月 9月 12月 2月  
※9月のみ通常・入寮特集号同時発行

学校と保護者の皆様を。母校と同窓生を。生徒と保護者の皆様を。もっと尚綱を通じてつながって欲しい。そんな気持ちで出来ました!

この1冊で、尚綱学院の「いま」がよくわかります。

## SHOKEI

尚綱誌の購読を通じて間接的に  
母校への支援が出来ますので、ご協力宜しくお願い致します。

- 尚綱後援会にご入会いただくと、機関紙「尚綱」が年6冊5回発送されます。(会費は年額2,000円、その倍額から受け付けています)
- 購読ご希望の方は、下記にお振込みいただくか、もしくはお電話いただければ、こちらから専用振込用紙を郵送致します。
- 継続購読ご希望の方は、2,000円以上ご入金いただくか、毎年尚綱誌2月号に後援会の専用振込用紙を同封致しますので、それをご利用下さい。
- ご芳名掲載を望まない方は、匿名希望と振り込み用紙の通信欄にご記入下さい。

郵便振込口座 No 02230-3-2116  
お申し込み先 尚綱学院後援会 事務局  
TEL.022-264-5872 FAX.022-264-5830  
E-mail:koenkai@shokei.ed.jp 電話受付時間(平日のみ) 9:00~16:00



### 編集委員 徒然日記

先日、大学を卒業して以来28年ぶりに友人に会う事が出来た。'インターハイ'に出場する選手とともに熊谷市に来た彼は、現在、鳥取県で高校の教員をしており、彼の連絡先がわかったのはつい1年前のことだった。

「やあ〜元気だったか?」と本当に28年ぶりなのかと疑いたくなる光景があり、「親友」とはこんな簡単な挨拶で済むものなのかと改めて感じた。しかし、こんな簡単な会話だけで済む人はそういないと思う。

この世に生まれている限りは、沢山の人の出会いがある。誰にでも長所は必ずある。相手の長所を見つけ楽しい会話をする事でお互い幸せな時が過ごせるはず...と私は思っているし、皆さんにもそう思ってもらいたいと願っている。(C.K)

# 未来に向かって躍進する、

# 尚綱学院高等学校 バレーボール部！

57年の歴史のある尚綱学院のバレーボール部。高校から大学へと連携した強化を図ることにより、大きな成長を遂げてきました。その取り組みを追ってみます。

初の決勝進出は、なんと、1年生集団！尚綱躍進の始まりです。

2007年2月、創部56年目にして、尚綱学院バレーボール部は快挙を果たします。第38回全国高校バレーボール選抜優勝大会宮城県大会(春高バレー)において、初の決勝進出を決めたのです。当時部員は選手8人、マネージャー1人のわずか9人で、しかもすべてが1年生でした。

惜しくも全国大会出場は阻まれてしまいましたが、尚綱学院バレーボール部の躍進はここから始まったのです。

2006年4月、尚綱学院は、高校と大学の連携によるバレーボールの一貫強化に着手します。

宮城県内の中学の県選抜選手などが入部して、1年生主体で始まったチームでした。週の半分以上を大学生と一緒に練習し、彼女達にとっては常に高いレベルで鍛えられる環境が整いました。

この『高校・大学連携』によるチーム強化は、短期間で速くも効果が現れ、1年後の初の決勝進出へと繋がってきたのです。

**表現力や強い精神力。笑顔のパワーを得て。**  
2007年には、FNS春高バレーコーチングキャラバンに選ば

れます。元オリンピック選手から直接指導していただけることは、願ってもないチャンスでした。

練習中、TVカメラが回っていたりするため、初めは緊張感もあつたようですが、すぐに慣れ練習に集中していききました。

担当の利部コーチからは、おとなしく感情表現があまりうまくない面を早くから指摘されましたが、徐々に相手と勝負するときの表現力などを身につけていきます。

そして、笑顔のパワーの大切さや強い精神力を持つことで、周りの方々への感謝の心など多方面にわたり指導を受けることが出来、彼女達もどん力をつけていきました。

今年全国の高校バレーボール選抜優勝大会宮城県大会(春高バレー)では、『高校・大学連携』によるチーム強化やコーチングキャラバンが身を結び、2年連続2度目の決勝進出を果たすことが出来たのです。

これからも全国大会出場を目指し躍進して行くことを期待したいと思えます。



国 高校バレーボール選抜優勝大会宮城県大会(春高バレー)では、『高校・大学連携』によるチーム強化やコーチングキャラバンが身を結び、2年連続2度目の決勝進出を果たすことが出来たのです。

これからの尚綱バレー  
高校バレーボール部監督  
小野寺二男より



06年よりバレー部が高校・大学連携強化指定種目となり、高校生が大学で練習する機会が増えたことは、大きな力になりました。

各高校出身者が集まる大学で、尚綱高校のバレー部のために時間を割き、練習相手をしてもらえることは、感謝にたえません。まさに高校・大学連携がうまくつながり、大学生にも大きく育てていただきました。

バレーを通して、物事の理解力を深め、心が成長し人間性が育つことが大事であると思つたので、これからは部員の、夢の実現"のために努力し全国大会出場目指して頑張っていきたいと思えます。

バレー界の底上げを目指し、テレビを通じてバレーボールの人気を復活させる"強化・普及双方の意を言んだバレーボールの広報PR活動で、『財』日本バレーボール協会並びに、全国高等学校体育連盟バレーボール専門部の全面的な協力のもと、行われております。

**FNSコーチングキャラバンとは？**  
バレー界の底上げを目指し、テレビを通じてバレーボールの人気を復活させる"強化・普及双方の意を言んだバレーボールの広報PR活動で、『財』日本バレーボール協会並びに、全国高等学校体育連盟バレーボール専門部の全面的な協力のもと、行われております。



派遣コーチ 利部陽子 (あがなひなこ)さん 元全日本選手 コス五輪銅メタリスト

高校バレーボール部主将  
小出加奈子より



昨年の夏休みから半年余り、元全日本メンバーでメダリストの利部陽子先生からご指導を受ける機会に恵まれました。

2度の春高バレー挑戦、満を持して臨んだ最後の高校総体、ともにセンターコートで敗れ悔し涙を飲みましたが、私の心の中には、大きなものを残すことが出来ました。

「前へ、前へ」高い壁に挑む時、迷わず、怯まず、前へ進んで行く強さ、これこそが半年間のコーチングキャラバンで利部先生から教えていただいたものであります。

利部先生、本当に有り難うございました。

コーチングキャラバン派遣コーチ  
利部陽子より

尚綱学院では、一貫して個々の選手の責任を問いかけてきました。

- 1. チームのために貢献する大切さ
- 2. メンバー同士が苦楽を共にする尊厳
- 3. 青春をバレーボールに賭ける尊厳

などを、責任という言葉で追求していったのです。

目標であった古川学園には、一歩及ばなかったものの、挑戦して得た財産は、きつといつまでも残るでしょう。

先日あるコーチから、「東北大会での尚綱のリベロは凄かった。どのコースでも1人で拾ってあげてスキがなかった。」と絶賛してくれ嬉しく思いました。

最後の祝勝会で、尚綱学院の理事長さんに「尚綱のプライドを見せていただきました。」という言葉が今でも鮮明に心に残っています。

ありがとうございます。

大学バレーボール部監督  
小田嶋充より



法人主導で推進される高校・大学連携事業の一翼を、大学バレー部が担うことになり、石垣恵理コーチ部員共々身の引き締まる思いで合同練習を開始した事を、今でもはっきりと覚えております。

あの時から2年半、高校生は小出加奈子主将を中心によまごまり、厳しい練習に耐え、めきめきと実力をつけてきました。

技術の修得はもとより、精神力の向上に比例して競技成績が上がっていく様は、はつきりと認識できました。

3年生にとって最後の高校総体は、準備勝という悔しい結果に終わりましたが、尚綱高校バレー部には無限の可能性を感じます。

必ずや後輩達が、3年生の追い求めた夢を実現してくれるものと確信しております。



## 尚綱学院高等学校 バレーボール部の あゆみ

1952年	尚綱学院高等学校バレーボール部発足
1971年	高校総体3位
1972年	高校総体3位
1980年	高校総体3位
2006年度大会成績	4月 第16回東北私立高等学校男女バレーボール選手権大会 <b>ベスト8</b> 9月 第38回春の高校バレー選抜優勝大会宮城県大会 <b>準優勝</b> 2月 第56回高校総体 <b>ベスト8</b>
2007年度大会成績	6月 第12回宮城県私立高等学校バレーボール選手権大会 <b>優勝</b> 7月 第17回東北私立高等学校女子バレーボール選手権大会 <b>第3位</b> 8月 平成19年度宮城県高等学校バレーボール新人大会 <b>準優勝</b> 10月 第12回全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会 <b>ベスト16</b> 12月 第17回宮城県高等学校バレーボール女子選手権大会 <b>準優勝</b> 1月 第39回春の高校バレー選抜優勝大会宮城県大会 <b>準優勝</b>
2008年度大会成績	4月 第57回高校総体 <b>準優勝</b> 6月 第44回東北高等学校選手権大会バレーボール競技兼NHK杯大会 <b>第3位</b>

高校・大学連携強化指定部となる

高校・大学連携強化指定部 2年目

コーチングキャラバンに選ばれる。

利部コーチとの運命の出会!

高校・大学連携強化指定部 3年目



中高教員 白津 祈恵子

「天が地を高く超えているように わたしの道は、あなたたちの道を わたしの思いは、あなたたちの思いを、高く超えている」

イザヤ書55章9節

『歴史の中で、神の働きを知ることができたら素敵だね』かつてペンパルが手紙に書いた言葉が最近、頭を過ります。それは今、高3のVISIONコースの担任をしているからかもしれません。国際的なことに関心を持って集まった生徒たちを見ると、外国のことを思うだけで心が躍った自分の高校時代が思い出されます。アルバイトで貯金をし、アメリカへ教会の高校生キャンプに行つたこと。ペンパルたちに英語で手紙を書いたこと...

大学を卒業し、計らずも大好きな歴史を教える立場となった今、やっとキヤサリンを通して神が語ってくれた言葉の意味を理解できた気がします。それは、歴史の事象の中に神を見出すのではなく、歴史を私の人生のツールとして、全てを導いて下さる神の働きを知ることとを意図していたのだと思います。目先のことに捕らわれてしまいがちな自分が、人の思いをはるかに超えた神のみ旨を知る時、神の広く深い愛を感じます。イエスの十字架の愛が、その究極的な証です。

卒業後の進路を考え、先の見えない不安に押しつぶされそうな生徒たちこそ、希望を持って歩んでほしい。そう人知をはるかに超えた神に祈り求める今日この頃です。



卒業生コラム

はばたき 第3回



鈴木静香さん

1997年 尚綱学院高等学校 卒業  
1999年 尚綱学院短期大学生活科学科 卒業  
2007年 尚綱学院高等学校 卒業



尚綱学院高等学校在学中は、3年間バスケットボール部に所属活躍。尚綱学院女子短期大学生活科学科・生活科学専攻被服科学コース入学・卒業。3年間のOL後、准看護学校、高等看護学校へて今春、正看護師としてはばたく。



Shizuka Suzuki

なぜ看護師になろうと思ったか？

7年前に祖父が胃がんで入院した時に、看護師という仕事の尊さを感じたこと、目の前で苦しんでいる祖父に対し、自分の無力さを痛感しまして、今何かをしなければ！と直感で決心したように思います。

どのようにして看護師になりましたか？

尚綱学院の高校・短大(生活科学科)卒業後、一般企業にOLとして3年間勤務し、働きながら看護学校を受験しまして、現在も勤務中の「緑の里クリニック」(岩沼)に働きながら准看護学校(2年)・高等看護専門学校(3年)の5年間勤務学生をして正看護師になりました。

看護師になるという目標を叶えたことについて

5年間勤務しながらの学生生活は大変でしたが、同じ道をたどった先輩や目標にしたいやさしい先輩が身近にいたこと、院長先生や両親の支えもありがんばれたと思います。今となっては、高校卒業後にすぐに看護学校に入るより、社会経験もし、5年間働きながら正看護

教員エッセイ

梅の花

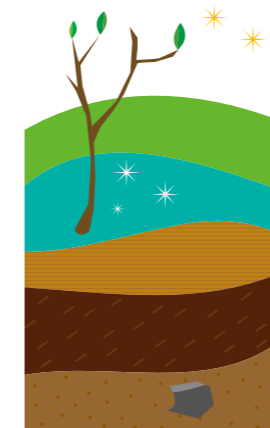
Vol.3

大学総務課事務職員 佐藤 光一

卒論の思い出 大学時代の思い出。あの時に得た、とても大事な教訓を思い出す。

アヤメを見に多賀城跡にいった際、年配のボランティアの方達が熱心に観光客に遺跡説明をしているのを見た。小脇に抱えた分厚いファイルに勉強への熱意を感じた。

大学生時代の話になるが当時人気の日本古代史ゼミに在籍できたものの、興味があった柿本人麻呂での卒論は難しいと教官に告げられ、実家の近所に郡山遺跡があるというだけで東北古代史「城柵と工ミシ」をテーマにされてしまった。数年前旧石器捏造で問題となった宮城県は、古くから考古学研究が盛んであるが、古代史の文献研究は史料、研究実績が多くな、肝心の郡山遺跡にいたっては文献史料に登場すらない。教官から叱咤激励され、様々な分野の史料研究や考古学研究の論文など沢山読破検討する中で、少ない実存史料から細かな視点でアプローチし考察していく、その発想



力や洞察力に感銘を受けた。また発掘のアルパイトのチャンスもいただいた。真夏の肉体労働は大変だったが、古代瓦や土器に触れ、調査員の先生からも様々なことを学んだ。現在地底の森ミュージアムとなった発掘現場で、試掘された深いトレンチから一面エメラルドグリーンの地層面と無数の埋もれ木が出てきた時の驚きと興奮はいまでも忘れられない。さて苦勞の末書上げた卒論だが、着眼点だけは褒めていただいた。また勉学とは単なる知識の詰め込みではなく自分の力で真実を試行錯誤しながら調べ上げていく、わからなかったものがだんだんとわかっていく、つながらないものがつながっていく、推理小説やパズルのような感覚と歴史像をつくり上げていく楽しさ、その過程や努力は時間がいくらかかっても無駄ではなく必要であることを知った。今も学ぶことはやめていないが、いつかあのボランティアの方のように、お役に立てる機会があればいいと思う次第である。

師になったことが心の準備期間にもなり、現場に出てもギャップが少なく、かえってよかったように思います。今は周りの方々の力を借りながらステップに立ってたとはいえますが、このことは、私の大きな自信になりました。これからは、何を求められているのか自分から気づき、責任ある仕事を任せられるようになりたいと思います。仕事をしたい、こ

夢を追う尚綱生にメッセージを

尚綱の高校3年間はバスケットボール部に所属し、毎日練習に明け暮れていました。その時に学んだ上下関係やチームワークの大切さ、OL時代の人との接し方などの経験が今も生きています。いつからでも遅いということはありません。わたしも24歳で看護師を目指して今がありますので、皆さんも行動を起こし、あきらめずにごんばつて下さいね！きっとその一歩が、心の扉をあけると信じております。

遠回りに思えて、大事な心の準備期間だった5年間で自信をくれました。

TIME SCHEDULE ある日の鈴木静香さんを追う!

- 6:30 起床
- 7:00 朝食
- 7:30 出勤
- 7:45 病院着 (患者さんの状態に関する情報収集など)
- 8:30 夜勤者からの申し送り 打ち合わせ 勤務(入院病棟勤務) 検査の介助や状態観察 その他
- 11:30 昼食・休憩
- 12:30 午後の勤務 食事の介助 午後の検温 運動の介助など その他
- 17:30 勤務終了 帰宅

# 情報掲示板

エラ・オー・パトリックとの、しばしのお別れ。暑い中でのスポーツや様々なイベントなどを終え、季節は秋へと移り変わってきました。皆さんは今年の夏、どんな思い出を作りましたか？

## 法人事務局

### 学長就任披露式



この4月に新たに大学、短期大学の学長に就任された佐々木公明先生の学長就任披露式が、6月10日（火）仙台台ガーデンパレスで行われました。当日は約200名の方々が新学長の就任を祝い、お集まり下さいました。

聖書朗読と祈禱、加藤正名理事長の挨拶の後、佐々木学長より「からし種」を時く教育の実践」と題して、就任にあたっての挨拶があり、建学の精神に基づく新たな大学づくりの中で、「人材育成」を大学の使命として取り組んでいきたいとの抱負が語られました。また、式の中では、東北学院大学学長の星宮望氏・東北大学総長の井上明久氏から、これからの尚絅学院大学に対する期待のお言葉を頂戴し、ピアノやチェロ、テノール独唱によるミニコンサートなども行われ、終始和やかな雰囲気の中となりました。法人事務局 小島里美

## エラ・オー・パトリックホーム

### 「一般公開」

6月14日（土）・18日（水）の両日、7月より解体のE・O・パトリックホームの一般公開が行われました。1・2年分の思い出の詰まった建物だけに、1000名を超える方が見学にいらっしやいました。卒業生・在校生、音楽を習われた方、近隣の方、文化財関係者や写真家の方。多くの方が訪れたこの風景を、パトリック氏やブゼル先生たちも天国からご覧になられたのではないのでしょうか。名取に復元後も多くの方が来館し、より多くの思い出を育むそんな建物になればと心から思います。（法人事務局 佐々木真也）



田頭茉莉子さん画

約7回目を迎えました。会場に響く子どもたちの元気な歌声を聴いて、感動の涙を流されている方々がいました。また、自分の部屋の中を見せて下さった方、「ありがとう」の一言を一生懸命に言ってくれた方、子どもたちが手渡した折り紙で作った花を、一生懸命に握りしめようとして下さった方等もいました。

## 幼稚園

### ありのまま舎コンサート



6月12日（木）、年長組は、ありのまま舎に訪問し、コンサートを開きました。元園長鶴間順子先生の時からスタートした訪問コンサートは、今回で

### お泊まり会

おひさまの下、色んなことをしたね！

7月16日（水）〜17日（木）と蔵王自然の家にお泊まり会に行って来ました。子どもたちはこの日のために、一つひとつの活動を相談し合っていました。その中でもメインとなる活動が3つ。ニジマスつかみ、探検、キャンプファイヤーです。ニジマスつかみは幼稚園でも初めて行う活動でした。裸足になり、泳いでいる魚を素手で捕まえることはなかなかうまく出来ませんでした。魚の感触や捕まえる難しさを味わうことも楽しさの一つでした。今まで側で泳いでいた魚が自分たちのお腹の中に入るということで、ニジマスの命を頂くことにも感謝しました。



探検やキャンプファイヤーは5年ぶりの天気にも恵まれました。気持ちも晴れやかに楽しむことができました。一人ひとりが係の役割をもち、協力しながら頑張ったお泊まり会になりました。最後に所の先生方から、「今まで自然の家に来た中で、一番歌が上手でした」と嬉しい言葉も頂きました。（幼稚園教員 川田祐子）

### その他の行事報告

（幼稚園で行われたその他の行事です）



避難訓練 6月9日（月）



大学にて梅の実取り 6月16日（月）



すいかわり 7月15日（火）

## 中学校

### 中総体を終えて

#### 中学校バドミントン部

成長した姿をみせてくれました！

「へえ…尚絅にもバド部あるんだ？」私の通う教会に集う他校の中学生の一言だった。言われてみると、尚絅高校の文化、運動部の活躍は周知のことだが、この中学校の部活動はあまり知られていないようだ。とかく小規模の中学校のためか自身、どうしても部活動はごんまりとしてしまっている。さらに正直、私のような素人の顧問になってこれくらい生徒たちに迷惑をかけたのだと日々考え込んでいた。

が、しかし、が、しかしである。なる6月14日（土）・15日（日）に行われた中総体で彼女たちはしっかりと成長した姿を見せてくれた。団体戦で対戦した台原中学校は、部員数50名以上の強豪校である。いつも通り委縮



して、あつという間に試合が終わってしまつたのでは？とどこかで考えていた。しかし部員たちは一歩も引かず堂々とした戦いを見せてくれた。ミスしても引きずらず、自分たちで修正しゲームに臨む。これまで常に課題として克服されなかったところをしっかりとこなせている。後方から部員たちの活躍を見ていて、大きな成長をとて強く感じた。そんな先輩の背中を見て1・2年生もよくついてきた。ゲーム自体はあと1点というところで相手校を追い詰めたが、惜しくも敗れてしまった。こんな経験滅多にできるものじゃない。ここまでやれたんだから、これからどんなことがあっても、君たちはもっと大きく成長できる。「今回の中総体はそう胸を張って声をかけてあげることができる。そんな大会だった気がする。優果、和紗、美咲、はるか、瞳、3年生は長い間お疲れ様。よく頑張ったね。」

（中高教員 平澤和昭）

## 高等学校

### 高校総体

各競技も精一杯頑張りました！

6月上旬に行われた高総体では、どの競技でも素晴らしい試合を見ることができました。真剣にプレーする姿は、応援する全校生徒を競技に引き込み、そして感動させてくれました。自分の力を十分に発揮できた選手も、悔しい思いをした選手も、この大会がこれから先の試合、来年の高総体へとつながることを願っています。



ソフトテニス部 2回戦進出



ソフトボール部 2回戦進出



サッカー部 3回戦進出



弓道部 決勝リーグ進出



バレーボール部 準優勝 東北大会出場



バドミントン部 第3位 東北大会出場

# 情報掲示板

## 平和祈願礼拝

心を込めて幸せを願いました

7月18日(金)、平和祈願礼拝が行われました。今年も、「平和七夕」(仙台七夕)の初日は「広島原爆被災の日」であることから、仙台市民有志によって行われている平和運動に参加し、生徒達が製作した折鶴のチエーンを礼拝堂に飾っての礼拝でした。礼拝では、平和七夕にも初回から関わり、各地で平和をテーマに講演をされている、川端純四郎氏にメッセージを頂きました。終戦時、仙台に滞在されていた川端氏は、ご本人の経験をお話し、その時の様子や考えをわかりやすく紹介して下さいました。礼拝で賛美した、讃美歌309番「讃美歌21」の歌詞にあるように、「主イエスにあって、憎い敵さえ愛する友にする事の大切さを改めて考えさせられ、祈り求める礼拝でした。(中高教員 佐藤洋晴)



## 夏季短期留学 モンタナ

心ふるさとモンタナでの15年目の月日

モンタナ州ミズーラーという美しい街で、英語研修を開始して15年の歳月が流れました。モンタナ大学の快適な施設を自由に使い、英語だけが飛び交う解放的、且つ安全なキャンパスライフを体験できた生徒は、この15年間で400名以上に達しています。この節目の年にリック先生と共に21名の生徒を引率し、これまでこのプログラムを温かく支え続けて

てくれた現地関係者にお礼を述べる機会を与えられたことは私にとっても幸いなことでした。

研修の第一の目的である英語学習では、授業以外にも、モンタナ大学の学生ボランティア達がお手伝いに加してくれました。英語学習終了後は、練習に練られた体験学習プログラムが用意され、寮に戻るの夜10時過ぎという日も多く、アメリカの大自然を満喫しながら、元気にアクティビティーに参加していました。

この短期留学がきっかけとなり海外の大学へ羽



ばたいた生徒も多く、現在モンタナ大学でネイティブ並みの英語を駆使し、経済学を学んでいる先輩達の姿を目の当たりにし、啓発された生徒も多かったようです。

久しぶりの引率でしたが、ミズーラーの町、そしてモンタナ大学はタイムスリップしたかのようでした。変わる必要性もなく、むしろこのまま居ることが当然であるという、自信めいた竹まいに圧倒される思いでした。(中高教員 佐藤真理)

## オースクール スクール

今年度から男女共学が始まった最初の高校オープンスクールは、7月26日(土)高校の礼拝堂を会場として開催され、午前の部の特別進学コースには、生徒70人保護者22人で、午後の部の総合進学コースには、生徒135人、保護者50人の計277人の方の参加を得ました。(内10数名男子生徒さん)



午前中は、在校生齋藤ルツ子さんのパイプオルガン演奏で参加者をお迎えして、合唱部より素晴らしい歌声を披露してもらい、男子生徒を加えた司会者3人でプログラムが開始しました。はじめに校長先生から、尚綱学院について「創立の由来、

と総進コース(文理・男女)の説明等を話して頂き、続いて、特別進学コースの説明では、一年の指導経過や模試の成果、取り組み状況、また、新しい男女共学の【文理】の説明に続き、「入試説明」について、昨年度の志願者数や入試報告、また推薦入試の基準や推薦者の特典さらには一般入試に関する事項を説明をしました。

最後に、授業体験で希望制によるクラス編成をして、「入試対策講座、国語と数学を提供しました。参加者は「苦手な教科だったけど、とても丁寧でわかりやすい授業でした。」と感想を聞く事が出来ました。(入試広報室長 小林智美雄)

## 大学・短期大学

### 平和祈願礼拝

「隣人を見つめる」  
「カンボジアとの出会い」

去る6月2日(月)元国際飢餓対策機構の現地スタッフとして、カンボジアで活動しておられた浜名星弘マリア夫妻をお招きし、「隣人を見つめる」カンボジアとの出会い」という主題のもと、特別礼拝がゆりが丘キャンパスでもたれた。会場の関係で、5Eと多目的ホールに別れてそれぞれお話ししていただいたが、教職員と1年生を中心に会場はほぼ満席となった。



尚綱学院大学宗教部では、前期の礼拝を4期に分け、自分を見つめることと隣人を見つめること、分かち合う生き方を見つめること、世界(地球環境)を見つめることをテーマに、学院



内外の先生方のお話しを聞かせていただいた。この特別礼拝はアジアの隣人に向ける、現地で実際に共に働かれた両先生にお話しを伺う大変良い機会となった。以下、多目的ホールで持たれた礼拝についてごく短く報告させていただきます。

浜名星弘先生は、馴染みのないカンボジア現地の様子を地図や画像を用いて見せて下さり、現地スタッフとして働いていた頃の苦労や喜び、近年のハブル経済による都市の変わり様や農村との格差、開発に伴ってほこる腐敗などについてひとしきり語られた後、新約聖書のザアカイとイエスの出会いの物語を引かれた。

権益を握っている人が変えられることで地域が変わり、国自体が変わっていくというのは今も変わらないことをカンボジアで見てきたこと、そして一人一人が変わることで、地域が変わり、国そして世界が変わっていく、というイエスが語られた神の国(=神の支配)のビジョンの豊かさこそそのダイナミズムについて淡々と語られた。先生方のお話の要約と学生たちの応答は、近日中に印刷物としてまとめられる予定です。

(大学宗教部員 今井誠 (一))

## 大学体育大会

ハレーホールに宝探し  
大いに盛り上がりました！

6月28日(土)、尚綱学院大学内において学生会主催体育大会を開催いたしました。雲空が続く梅雨の最中、開催日当日は天候にも恵まれ体育大会日和となりました。

今年度は午前ハレーホール、午後宝探しの2種類の競技を行いました。学生は学年・学科を問わず男女別5人1チームでエントリーし、優勝を目指し真剣に競技に参加していました。

学内でミニオープンキャンパスが行われていたこともあり、ハレーホールの試合中、数人の高校生と保護者の方が見学に訪れ、学生の活発



な姿を見て頂く良い機会にもなったのではないのでしょうか。午後に行った宝探しは、今年度の新たな取り組みであり、開催にあたり不安な点多々ありましたが、代議委員の学生の協力もあり最後まで競技を進めることができました。

体育大会は、2008年度学生会常任委員で行った初めての企画です。「全員企画」を目標に体育大会まで活動してまいりました。全員で企画・運営し、無事成功させることができました。嬉しく思います。体育大会開催にあたりご協力頂いた学生生活課の方々、先生方に感謝申し上げます。来年度の体育大会もより良いものとなるよう、常任委員会一同努力していききたいと考えております。

(学生会総務 菊地亜美)

## 学生会の近隣ごみ拾いの取組み

5月23日(金)、学内の先生方と私達学生会とでゆりが丘町内のごみ拾いを行いました。尚綱学院大学のバス停周辺から、海が見える丘公園までの道を、先生と学生会が混ざってグループを組んで「3ミ」の回収に当たりました。

ごみの種類としては、お菓子の包み紙など小さい物がほとんどでしたが、ガードレールを乗り越えなければ見えない場所や、公園の砂場の砂に埋まっていたりと、拾いづらい箇所が幾つかありました。また、タバコの吸い殻が多く、一カ所にたくさん捨てられているのを発見したときは非常に遺憾に思いました。中には壊れた傘の放置、車のバッテリーが捨ててあり、子ども達が遊ぶ際に怪我を負いかねない物もありました。

美しく整えられたゆりが丘町内の外観を損なわないこともありますが、子ども達が安全に遊べるように、これからも参加していきたいと思いをしました。

(学生会副会長 金野有美)



## その他の行事報告

(中高で行われたその他の行事です)



合唱部定期演奏会  
7月12日(土)



茶道部定期茶会  
7月12日(土)



管弦楽部定期演奏会  
7月19日(土)

# 情報掲示板

## オープンキャンパス

約1,500名の方が参加していただきました

去る8月2日(土)、2008年度尚綱学院大学、同女子短期大学の「オープンキャンパス」を実施しました。今年のオープンキャンパスは、6月28日(土)、7月12日(土)のミニオープンキャンパスに続いて3回目、さらに9月27日(土)にもミニオープンキャンパスを実施します。



高校生に各学科の教育内容や魅力

を十分に伝えることができたように、各学科には学生ボランティア参加型の充実した体験学習を企画していただきました。特に、学生ボランティアには、体験学習にも参加して高校生との接点となつて協力していただきました。

参加者数は6月28日(土)に2,500名、7月12日(土)に1,800名、8月2日(土)に約1,000名でした。オープンキャンパス全体の参加者の延べ人数は約1,500名になります。今年は、設置2年目の、現代社会、表現文化、生活環境の3学科の体験学習会場にも多くの参加者があり、3学科のイメージが高校生に認識されつつあるという印象を強く受けました。

参加した高校生の満足度は概ね高いものでした。学生や教員の熱心な対応がよかったという感想や大学の立地環境がすばらしいという感想も多く、大学の明るいイメージをPRできたのではないかと思います。

(入券入試部長 大下健幸)

## 保護者会・学科懇談会

保護者の方々の熱心が伝わって来ました

大学・女子短期大学部で初の試みとなる保護者会が、6月28日(土)梅雨の合間の晴れ渡った天気の中開催されました。当日は高校生向けの



オープンキャンパス、学生会主催の体育大会も同時に開催され、午後からの保護者会全体会に先立ち、行事や学内の施設見学、体験授業など実際に参加いただき、学内の雰囲気や味わっていただきました。

会場となった5Eで午後1時30分から始まった全体会には、200名を超えるご父母が集まり、開会として、佐々木公明学長より挨拶と大学の説明、その後、山本玲子進路就職部長より進路活動と支援の取組みについて、本学の進路就職指導の説明が行われました。また在学を代表しキャンパスライフというテーマで、表現文化学科大友里香さんがサークル活動を通じて自身も成長し有意義な学生生活を送っていること、生活環境学科茂弘大さんは学科で取り組んでいるエコプロジェクトへの積極的な参加や活動などの体験談、保育科島影玲奈さんは保育所・施設実習の実体験を通して自分を見つめ直すことができたことなど、学業や学生生活、現在の心境などを話していただきました。

## 尚綱学院大学エクステンションセンター講座のお知らせ

### 語学から、スポーツ、絵画まで豊富に揃っています！ 2008 後期 オープンカレッジ

- 英会話講座 (中級)**
  - 受講料:1期10回 10,000円
  - 定員:16名
  - 講師:アン・トーマス(元尚綱学院大学講師)
  - 開講場所:JR名取駅構内プラザホール
- ハンブル講座 (入門・初級・中級)**
  - 受講料:1期各12回 12,000円
  - 定員:各16名
  - 講師:李善姬(東北文化学園大学講師)
  - 開講場所:尚綱学院大学ゆりが丘キャンパス
- 英語でしゃべりたい (英会話入門)**
  - 受講料:1期10回 10,000円
  - 定員:15名
  - 講師:橋由加(州立モンタナ大学准教授)
  - 開講場所:JR名取駅構内プラザホール
- 健康・スポーツ講座 (テニスA&B/入門・初級者対象)**
  - 受講料:1期各12回 9,000円
  - 定員:各25名前後
  - 講師:(A)ナスバテニスクラブ、(B)太白区テニス協会
  - 開講場所:尚綱学院大学ゆりが丘キャンパス内テニスコート(雨天時本学体育館)
- ジュニアテニス講座**
  - 受講料:1期16回 16,000円
  - 定員:各20名前後
  - 講師:学内教員、オープンカレッジ講師(ナスバジュニアテニスアカデミー)
  - 開講場所:ゆりが丘公民館
- 感性アート入門講座 (絵画の楽しみと技法)**
  - 受講料:1期10回 10,000円
  - 定員:20名
  - 講師:保坂遊(聖和短大講師、臨床美術士)
  - 開講場所:尚綱学院大学ゆりが丘キャンパス
- 身近な文章講座 (エッセーや自分史を書こう)**
  - 受講料:1期10回 10,000円
  - 定員:15名
  - 講師:阿部友康(河北新報社元記者、編集委員)
  - 開講場所:尚綱学院大学ゆりが丘キャンパス
- 俳句講座 (ことばの輝きを探る)**
  - 受講料:1期10回 10,000円
  - 定員:15名
  - 講師:中村孝史(宮城県現代俳句協会幹事)
  - 開講場所:JR名取駅構内プラザホール
- 川柳実作入門講座**
  - 受講料:1期10回 10,000円
  - 定員:15名
  - 講師:若山大介(川柳宮城野社編集同人)
  - 開講場所:JR名取駅構内プラザホール
- 異文化理解講座 (ハワイの踊りアラ・文化歴史/初心者対象)**
  - 受講料:1期10回 10,000円
  - 定員:15名前後
  - 講師:石川真奈美(フラインストラクター、フリーアナウンサー)
  - 開講場所:尚綱学院大学ゆりが丘キャンパス
- デジタルカメラとパソコン利用講座**
  - 受講料:1期10回 10,000円
  - 定員:15名前後
  - 講師:林友幸(江崎写真カメラマン)
  - 開講場所:尚綱学院大学ゆりが丘キャンパス
- 癒しの講座入門 (アロマで癒し)**
  - 受講料:1期7回 7,000円
  - 講師:関淑恵(アロマインストラクター)
  - 開講場所:尚綱学院大学ゆりが丘キャンパス

### 2008 年度尚綱学院大学特別講演会 —地域と取り組む次世代教育—

- 公開講座 未来学 (動物行動学から見た人間未来への提言①②③)**
    - ① 10月25日(土) 10時30分～  
「動物の家族～家族を構成するオスとメスとは?～」
    - ② 11月8日(土) 10時30分～  
「"家族"の誕生～男が父親になった訳～」
    - ③ 12月6日(土)10時30分～  
「家族像の変貌～家族の崩壊と再生に向けて～」
  - 公開講座 大入學 (老年学を含む)**
    - ① 10月25日(土) 13時30分～  
「このころの働きについて知ってほしいこと～ストレスとの付き合い上手になるために～」
    - ② 11月8日(土) 13時30分～  
「大人の悩み・病める心～鬱病に関して～」
    - ③ 12月6日(土) 13時30分～  
「爽やかな人づきあい」で「自分らしく生きる」～アサーションのすすめ～」
- 受講料:無料 ●会場:本学ゆりが丘キャンパス講義室



### 尚綱学院大学2008 みやぎ県民大学開放講座 受講生募集

- 第1回 10月20日(月) キーワードは「愛」**  
～この世にいらぬ子どもは一人もいない
  - 第2回 10月27日(月) 「自己の受容」とは?**  
～子ども嫌いは自分嫌い:精神医学と教育学との二重アプローズ～
  - 第3回 11月14日(金) 引き継がれる命**  
～赤ちゃんから学ぶリズムとコミュニケーション
  - 第4回 11月17日(月) 大人から子どもへのメッセージ**  
～大人の自己再発見:脳力をもつ大人の生き生きとした姿～
- 受講料:無料 ●会場:JR名取駅プラザホール ●時間:午後2時～4時

講座受講お申込みは、氏名・住所・電話番号・受講希望講座名を明記のうえ FAX・郵便・Mail・電話等で尚綱学院大学エクステンションセンターまでご連絡ください。

○受付開始:2008年8月21日(木)～(先着順)  
○連絡先:尚綱学院大学エクステンションセンター  
〒981-1295 名取市ゆりが丘4-10-1  
○電話:022-381-3315 FAX:022-381-3325  
○Mail:extension@shokei.ac.jp

※受付後にセンターから受講料振込用紙等をお送りいたしますので、指定の期日までに振込み等の手続きをお願いいたします。  
※その他:受講希望者が一定数に満たない場合、講座を中止することがあります。

## 同窓会 コーナー

### ぶどうの会 ボランティアコンサート

「特養老人ホーム  
"シオン"の園"訪問"の報告

今年もぶどうの会の一員として園に訪問して賞賛することができて感謝をいっばいでした。盛況で待っていてくれるかしらと思いつつ施設に入りまして。今年はオカリナ(イタリヤの楽器)で南米の明るいリズムミカルな曲の演奏もあり、笑顔の人、うっとり聴く人を楽しませてくれました。

「茶摘み」の歌では手とり合ってコミュニケーションはつちりてした。「ありがとね」の言葉に私は「来年も来るからね」と握手して別れました。(米谷道子)

## 八三会

8月11日(月)同窓会行事のひとつ、ブゼル先生の墓前礼拝である八三会が、60名の参加のもと行なわれました。今年の礼拝のメッセージは同窓生の小野寺正美さんで、「ブゼル先生の誕生とその時代」というお題でその時代背景や出版に当たった方々の詳しいお話をされ、たくさん学ばせて頂きました。今年は、東京から千葉



全体会終了後、引き続き学科懇談会が開催されました。教員、ご父母の自己紹介から始まり、学科の概要や今後の授業展開のほか、学業や就職などの個別相談など、16時過ぎまでご父母との熱心な意見交換がなされました。

初の試みということもあり、ご参加いただいたご父母の皆様は、学校の取組みなどを身近に感じていただく機会として、次年度以降も工夫を凝らして、よりある会へつなげていきたいと存じます。今回ご都合等で参加いただけなかった方につきましても、次回是非ご参加いただけますよう、あらためてお願いいたします。(総務課 佐藤光一)

## 地域と取り組む 次世代教育

今年度、エクステンションセンターでは「地域と取り組む次世代教育」というテーマのもとに公開講座やセミナーなどを計画しております。すでに5月4日(日)には「スポーツ競技者としての食事と栄養」(早稲田大学鈴木正成教授、7月12日(土)には企業(東北コー、ユーメディア)の方をお招きして「こと探求セミナー」環境の「こと」を実施いたしました。

9月27日(土)13時～16時には、若者のキャリア形成と親子関係の支援を目的に、「親と子で考えるキャリア形成セミナー」を計画しております。講師には、キャリアカウンセラーとして豊富な経験を持ち、著作や講演活動など幅広く活躍の小島貴子氏(立教大学大学院准教授)をお招きします。講演と学生とのトークなどを予定しております。(本学大講義室)

今後、次世代の教育に資するセミナー・講座等を計画いたしますので、どうぞ期待下さい。

### 同窓会支部総会予告

支部名	開催予定	支部名	開催予定
大崎	10月4日(土)	石巻	11月8日(土)
気仙沼	10月11日(土)	東海	11月15日(土)
山形	10月18日(土)	関東	12月6日(土)
仙南	10月25日(土)		

参加ご希望の方は、同窓会事務局までご連絡下さい。  
電話 022-264-5830



## クリスマス 祝会のご案内

日時 12月13日(土)  
場所 広瀬校舎内  
時間 12時30分～受付12時...予定  
説教者 川端純四郎氏  
会費 500円

☆皆様のご参加をお待ちしております。

## お知らせ

同窓会本部役員三浦良子さんが7月14日(月)に急逝されました。厚生部活動に於ても活躍されました尚綱学院同窓会に多大なる貢献をされたことに感謝し、心よりご冥福をお祈りいたします。